



## 産学官で若い力を引き出そう！ ～地域振興に向けて～

[秋田市観光クチコミ大使]

杏林大学 総合政策学部 教授 小田 信之氏

1989年に日本銀行に奉職した私は、経済の調査研究を中心に本店での勤務が長かったが、縁あって2013年から2年間、日銀秋田支店に勤める機会を得た。秋田では公私ともに大変充実した生活を送らせて頂いたが、それはひとえに、周囲の皆さまからの温かいご支援のお蔭であった。感謝の気持ちは生涯忘れられない。

異動で秋田を離れた後、昨春から杏林大学で教鞭をとる機会を頂いた。キャンパスは東京都八王子市にあり、都心から離れて緑豊かな環境である。日銀で経済を調べるのとは少し違った視点から、広範な問題を研究できるのでとても新鮮である。

過去にも私は、日本銀行勤務の傍らで3つの大学で非常勤の教員を兼職したことがあった。そのため、大学のことは良く知っているつもりだったが、実際に専任教員の立場で学生に接すると、新しい発見がある。



豊かな緑に恵まれた杏林大学キャンパス

中でも最も印象的なのは、学生の行動力や提案力、潜在的なパワーだ。もちろん、学生によって関心の方向は区々だが、何かのプロジェクトに真剣に取り組むことの遣り甲斐を実感させられれば、学生は驚くほどの力を発揮する。

一例として、私の同僚の教員がゼミで指導している学生が、地元の地域振興のための取り組みを提案し、実際に行動して貢献している事例を紹介したい。

八王子市は、25校の大学・短大・高専がキャンパスを構える学園都市で、これらの学校が連携し、市や企業の後援も得て、毎年「学生発表会」を開催して

いる。その一部門に、学生が地域振興や市政に関して提案を行う場があり、市長も参加して審査に携わっている。

同僚教員のゼミ学生たちは、アジアから日本へのインバウンド観光を調査する中で、多くの外人団体旅行客が宿泊地として八王子を選ぶようになったことを発見した。理由を探ったところ、都心部の宿泊施設の価格高騰を踏まえ、富士山や京都など人気観光地の前泊地として八王子が選ばれることが分かった。

ここからが彼らの提案だが、八王子を単なる通過地で終わらせてしまうのはもったいないので、地元商店街で観光客にもっと消費をしてもらうPRイベントを立ち上げようと考えた。外国人向けに中国語と英語で商店街の地図やチラシを作り、観光バスから降りてくる外国人を実際に街へ案内するというプランである。

この提案は、学生発表会で優秀賞を獲得し、八王子市からは予算まで頂いた。そして、学生たちは提案を行動に移した。イベントは好評を博し、その後は、飲食店からの要望でメニュー等を外国語に翻訳する計画も始まった。

文字どおり産学官の連携によって、地域振興の取り組みが進んだ例だと思う。学生たちは、プロジェクトに何百時間も投入し、商店や行政との調整も経験した。実社会のことを数多く学んだに違いない。

秋田にも、全国各地から元気な学生が多数集まってきている。産学官の協働によって、若い力を地域振興に向ける取り組みがさらに進んでいくことを期待している。

### ■略歴

1964年 愛知県名古屋生まれ  
1987年 東京大学理学部物理学卒業  
1989年 同大学院修士課程修了  
同年 日本銀行入行  
2013年 日本銀行秋田支店長  
2015年 杏林大学総合政策学部教授